

## 女性の社会的地位と家庭内暴力（DV）

### Karimatou Jocelyne VOKOUMA/BOUSSARI さん（ブルキナファソ）

女性には、社会の中でおかれている地位の低さゆえの苦しみがあります。男女どちらも同じ人間であるのに、伝統や文化によって男性は上、女性は下と位置づけられています。こんな状況では、女性の権利を向上させるのは困難です。

ほとんどの女性は、男性が負う責任のもとで生きることが良いと感じており、それが、女性を支配しようとする男性を助長させます。DV問題はまさにこの時点に根を発しており、そこから男女の意思が衝突するのです。

女性に暴力がふるわれる背景には、固定観念が大きく関与しています。女性だけが義務を負う、次のような悪質な固定観念と戦わなければなりません。

- ・ 女性は家事をし、男性は勉強や、会社で仕事すればよい。
- ・ 子供や家族の世話をする。
- ・ 女性は家にいなければならないが、男性はいつでも好きな時に外出できる。
- ・ 男性だけが決定権を持ち、社会に出るのも男性のみである。
- ・ 何をするにも、女性は男性のあとでないといけない。
- ・ 女性は常に男性に助けてもらわなければならない。

昔からのしきたりで、女性には公的な立場がありません。女性の人権についても、伝統や文化の悪い面、すなわち、女性は男性の所有物である、女性には自分で何かを手にする権利はない、女性の物はすべて男性の所有に帰する、といった観念と戦っていかなければなりません。夫のアイデンティティー以外、自己のアイデンティティーを持たない女性があります。自身のアイデンティティーを獲得するために戦わねばなりません。ほとんどの女性が伝統的な制度を恐れています。娘がDV問題を抱えていても、娘の家族は助けません。女性や女の子は折り目正しく振る舞わなければなりません。男性には、妻を殴るなど、やりたいことをする権利があります。女性はDVを受けていることについて話すのを恥ととらえます。どんな状況でも黙って耐えるように、伝統と文化が女性をしつけてきたのです。自分の人生でうまくかないことについて多くの人に伝える権利がないのです。

ブルキナファソの女性は、女性の地位向上のための国家政策を採択させました。わが国の男性は、妻が会社で働くのを好みません。リーダーたちは、女性を心理的に解放するための新戦略を展開していかなければなりません。これはまず、女性リーダーが解決すべき問題です。女性の人権を真に向上させるためにリーダーは、男女両方の手を借りる必要が

あります。やり抜く意志があればそこに道は開けます。つまり、女性に対する人権侵害事件について、リーダーは被害者の1人ひとりから協力を得る必要があります。

DVが増えるにつれ、政府は、さらに努力を重ねて、慣習のせいで起きるこのような問題を解決していかなければなりません。女兒の就学、女性の訓練、ともに必要です。教育を受けさせなければなりません。女性の開発のためには、しっかりした教育計画が必要です。女性たちに自分の周りで起きているすべてを知り、把握していく力をつけさせる必要があるのです。